

報告書について各委員の意見と修正案

区分	必要な取組	委員意見	修正案
	サブタイトル案	<p>○案1「<u>つながる</u> 広がる 町内会」</p> <p>○案2「<u>出会い</u> ふれ合い 支え合い」</p>	<p>○表紙にサブタイトル・テーマ（「出会い つながる 地域の絆」）を追記 →出会い＝「きっかけづくり」、「つながる」＝連携、「地域の絆」＝日頃のコミュニケーションの大切さ、この3つの大事なことを示したサブタイトルを追加</p> <p>○P24：詳細説明追加。テーマやポイントを絞って、重点的に必要なことを強調→「きっかけづくり・連携が大切」</p>
	全体に係る意見	<p>○順番が「参加促進」「ノウハウ蓄積」「連携」となっているが、「きっかけづくり」や「連携」が大事だという議論になっている。それらを前に出すような順番がいいのでは。「きっかけづくりが大事」「連携も大事」というのをばんと前に出して、あわせて「参加促進」を今までどおり工夫しながらやっていきましょうというほうが良い。</p> <p>○町内会が高齢化するの仕方がない。元気な高齢者もどんどん増えているわけで、高齢化していくのです。しかし、その町内会が孤立しないで、いろいろな商店街とか、若手の奥さん方が公園でボランティアをしていたり、おやじの会があったり、いろいろな人たちと支え合って閉鎖的にならずにやってくれたらいい。</p>	<p>○順番等の変更 →項目名「ア.参加促進」を「ア.参加促進・きっかけづくり」に変更 →項目の順番変更「意識づけ・関係を高める取組」を一番上に →項目の順番変更「担い手・人材」の中で「連携」を2番目に</p> <p>○開かれた町内会について →P28に「開かれた町内会・受け入れ態勢の検討」の項目追加</p>
① 担い手・人材	1. 意識づけ・関心を高める取組	<p>○「地域参加意識の啓発強化」→役員会等に欠席した方にもレジュメを配布し、絆づくりの心がけ。</p> <p>○「小学生向け町内会活動周知リーフレットの作成」→A4程度の簡単な漫画のリーフレットを作成し、小学生にも分かりやすく町内会活動を周知する。主に新一年生を中心に配布。内容は①地域の花壇にお花がキレイに咲いているのはなぜ？②ゴミステーション、冬でも雪掻きされてるのはなぜ？③公園の芝生をキレイにしてくれる人は誰？④除雪車が来てくれて、道路が歩きやすくなったね。→町内会がなくなったら、みんなの住む地域はどうなっちゃうと思うかな？というように具体的に町内会が地域の生活に密着している事を伝える。→町内会への関心を高める。</p>	<p>○P26：追加修正 →「会議欠席者等にも情報提供するなど日常の絆づくりや啓発の取組」 →「小学生向け周知リーフレット作成」追加</p>
	2. 活動の見える化、情報発信	<p>○「活動が見える化するための取組」→例会では活動や行事を紹介、欠席者にも配布。ホームページやSNSでも発信。</p> <p>○ホームページを地域活動に活用する意識がまだ根づいていない→SNSなど手軽にできる→SNSの活用や意識付け（町内会のIT化）が必要。</p>	<p>○P27：追加修正 →「欠席者や未加入者にも情報を伝えるため、ネット等で公開し「見える化」する取組」 →「町内会IT化の促進」の項目追加</p>
	3. 負担が軽いライトな参加を受け入れる仕組み	<p>○「若者が役員等で活躍できる仕組み」→若者にとってライトではない→役員＞インターンシップ＞朝活（ラジオ体操等）のように負担感に強弱がある。学生が役員になるというのは大変。学生の勉強になったり、社会人基礎力を身につけられたり、履歴書に書くことができたりとむしろインセンティブ的なもの。ライトな参加では、ラジオ体操など、朝の活動なら学生は来やすい。</p> <p>○「若者が役員等で活躍できる仕組み」→役員は常に支え・協力する姿勢。</p> <p>○町内会の仕事が多すぎて負担になり、担い手がいないのでは。→事業が少なくても担い手がいない状況もある→人材を発掘することが大切→「できることを、できる人が、できるときに、できるだけ」行えるような仕組みが必要（大学生についても、高齢者についても負担が軽い参加ができるように）。</p> <p>○外部の人が入りづらいという話も聞くので、開かれた町内会となって、若者や団体を受け入れていくことが大切。</p>	<p>○P28：追加修正 →「若者が役員等で活躍できる仕組み」を「大学生・若者が参加しやすい仕組み」に変更し、朝活などを例示 →「事業・業務量の見直し」の文言を追記 →「開かれた町内会・受け入れ態勢の検討」の項目追加</p> <p>○P30：追加修正 →P28の「若者が役員等で活躍できる仕組み」を削除し、P30に「若い人が地域でやりたいことを実現する仕組み」を追加</p>
	4. 地域活動へのインセンティブ	<p>○「参加のインセンティブ」→大学生には活動時間や貢献度に対し単位を与える制度。</p> <p>○表彰制度について→緩やかな感謝の制度、住民同士で感謝し合うというようなかたちで。会長名で表彰を行うと、地域のつながりが感じられるものとなる。</p>	<p>○P29：追加修正 →参加のインセンティブに「単位等」の文言を追記 →「表彰する制度」に「（学生を表彰するなど）」を追記</p>

	5. 各世代に合った参加の仕組みや呼び掛け	<p>○「子育て世代への参加促進」→多世帯交流の場（子ども会が担当する地域の公園でのバーベキュー大会など）。</p> <p>○「高齢者の人材発掘」→高齢化に向かっていく社会にあって退職者の中に埋もれている人材発掘、その活用こそが今後、ますます望まれることでは。現役は年金生活者の年金の担い手、年金生活者は社会を支える担い手にならなければならないという思い。高齢の健康者は増加傾向にあって、比較的、時間に余裕があると思う。潜在的には社会に貢献したい、繋がりをもちたい、そのきっかけや動議づけがない、その施策が大切。</p>	<p>○P30：追加修正 →「小学生が参加しやすい行事を増やす」に「多世帯交流の場、バーベキュー大会等」の文言を追記 →「高齢者」の参加促進を追記 →「若い人が地域でやりたいことを実現する仕組み」に、「ライトな参加～」に分類していた「若者が常駐するスペース～」を移動</p>
イ. 連携	1. 各主体が連携するためのコーディネート役が必要	○まちセン所長は、地域団体の連携について重要な存在なので、所長のサポート体制を強化する必要がある→「まちセン応援隊」というように学生やNPOがまちセンの運営をサポートしては。まちセン所長が団体間のパイプ役となるよう支援する。	○P31：追加修正 →「まちセンのコーディネート機能の強化」に「まちセン応援隊等」の項目追記
	2. 地域間や団体間のマッチング促進	○「連携」について、近隣の町内会をつなぐシステムがあるとよい。団体同士のマッチングなど役員不足、高齢化、加入率の低下など、益々弱体化していく事が予想される地域の隣近所の町内会の連携や合併。窓口はまちづくりセンターでも良いかとは思いますが、連町にて各町内会の状況を把握し、仲人役を立てるもの良いかと思われる。	○P32:「地域間や団体間のマッチング促進」の項目を新規追加
	3. NPO・企業等の得意分野を生かした地域協力の促進	○「企業の参加のルールづくり」→周囲の清掃だけでなく、町内と一緒に活動も有ると良い。	○P33：追加修正 →「地域と一緒にいる活動の促進」を追加
ウ. ノウハウ蓄積	1. ほかの町内会や地域の活動事例等共有、意見交換・交流の促進	○「活動事例の共有化」→各単町の温度差があり、うまくいっていないところも多々ある。	
	2. ノウハウを持った専門性のある人材の育成・派遣	○「新規役員等への知識」→町内会活動をしながら、人間関係づくりをする。	
②活動の場	1. 公共施設等の活用	○「公共施設等の活用が必要」→公園を使用した町内会レク（バーベキュー）。	○P30（各世代に合った参加の仕組みや呼び掛け）に追加 →「バーベキュー大会」の文言追加
	2. 既存施設の地域活用の推進	○「事務所・空き店舗・店舗空き時間の活用」→営業時間の前・後の利用。	○P37：追加修正 →「営業時間前後に地域活動に活用する仕組み」を追加
	<p><b>条例関連の検討について</b></p>	<p>[日常のコミュニケーションが大切]</p> <p>・（加入促進のためには）地震などのとき、普段からの仲間意識が大切、だから町内会に入りましょうと訴えている。（加入を）説得するには時間がかかる、条例をつくったり市長が手をあげたからといって加入率がグッと上がるわけではない。日常のコミュニケーション、日頃からの関係づくりがとても大切。いろいろなイベントをやりながらそこにまずは参加していただいてきっかけを作ることが大事。</p> <p>・会長が実際に尋ねて入ってくださいとお願いすると多くの方が入ってくれた。こういう実際の行動が大事。</p> <p>[条例・宣言等について]</p> <p>○町内会の加入促進というより、応援した結果、活性化して、それが加入に結び付いていく、というのが良い。</p> <p>○市役所というより市長自ら町内会を応援している、というコメントが良い気がする。子どもに言わせても面白い。</p> <p>○条例化ありきではなく、条例化の機運が高まる必要がある。そのためにも、応援宣言などをしたり、施策を充実させたりなどいろいろある。条例化という機運が高まり、市民の声を議員さんが受けて条例化するなど、市民の声をもっと拾う必要がある。</p> <p>○市長の方針であれば、施政方針演説でやってもいいと思うので、条例化云々はまだ先の話ではないかという気がする。</p> <p>○議員なりが市民の声を受けて一つの形にまとめるといい。</p>	○P39-40：左記意見を追記